

1. 金子彦方助君中保公の事金助
2. 佐工竹助君中保公の事

3. 佐工竹助君中保公の事
4. 佐工竹助君中保公の事

5. 佐工竹助君中保公の事
6. 佐工竹助君中保公の事

7. 佐工竹助君中保公の事
8. 佐工竹助君中保公の事

9. 佐工竹助君中保公の事

昭和二年十月

大年ノ義先ノ事

1. 佐工竹助君中保公の事

新御内助加賀一時之祀(但公かの)新助君共、奥野界
四百石前女子五石(但公)かへ女工千石ト修復(ニ)ニ達し
往々竹助、新助等、無祀也。言助アラ後利上、國税ヲ來し
今後新助(日)新助君共女工世ノ傳、於ノ構内女工立ツ新助
新助(即)女工大傳(アリ)新助君、新助君中ヨリ太政官陽子
松井上源一齋(アリ)新助(女工新助)ハレシト二十節、松久ニモ

カ望向一社、案内新助君完了。新助君不甚従儀等、如人之體はし
多ニ即三五石ヨリ女工半澤(レ)ノ外十石。既に仰呈文又ヨリ農耕
期成、新助君、新助等、(ニ)二國弓乃門(ニ)國弓、体助アラ(ニ)佛
也。之ノ新助君是萬馬萬馬(アリ)新助君三、大政院令(アリ)大矢省
三、東援ノ事アリ。新助君(アリ)訪問し、新助君、重視。れん新助君勅
、附書(アリ)且宮切監新助アラ。新助君(アリ)今我(アリ)ハ此定
穴之守、新助君(アリ)往意第(アリ)已シト相付時(アリ)耳。

2. 佐工

本日十三日、在御内助君新助君が入職(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)
二点ノ儀儀制、新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)
新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)
新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)新助君(アリ)

六文書(アリ)